



材料の成形性能限界評価

液圧バルジ試験機により等二軸変形も含めて破断限界線図を作成し、高い予測精度で破断限界を判定します。

形成限界線図 (FLD) 測定試験

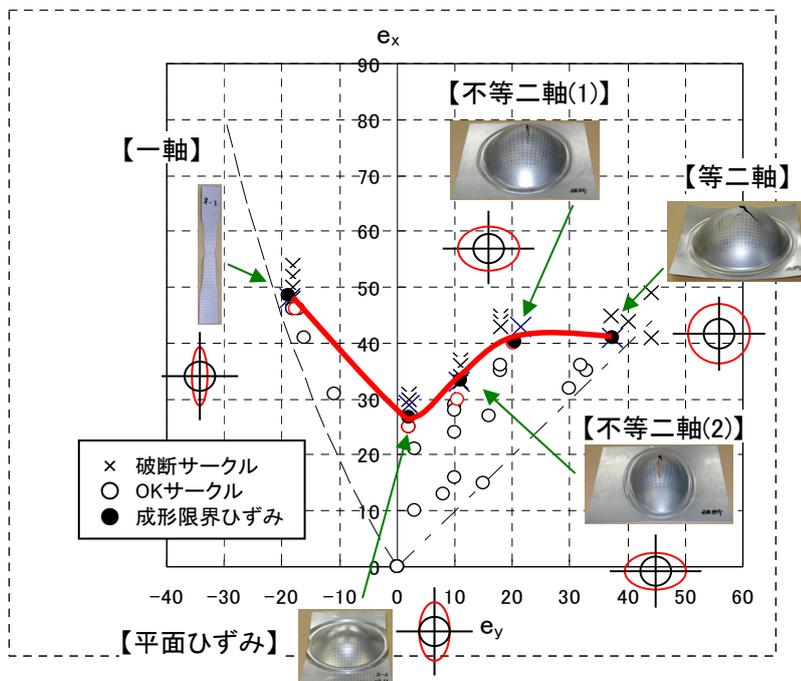


- 1 材料の成形限界が容易に測定可能**
 当測定試験は、体系化された成形試験を組合せ、更にその解析手法を簡略化、自動化することにより、材料の成形限界を容易に測定することを可能にいたしました。
- 2 液圧バルジ試験機により等二軸変形が容易に実施可能**
 成形限界測定では、主歪み方向(E_x)とその直交方向(E_y)の歪み量を同一にした場合の限界歪みを求める必要があります。
 液圧バルジ試験機により、容易に等二軸変形を実現できます。
- 3 中間ひずみ領域、高張力鋼板の測定が可能**
 当測定試験では、不等二軸変形を工夫(形状、潤滑条件)することにより、中間歪み領域の測定および高張力鋼板の試験が可能です。

主な仕様

板厚範囲	0.1~2.0mm
強度範囲	等二軸変形で破断可能な荷重まで(等二軸変形が不要な場合は、更に拡大可能です)
スクライブド サークル径	5φ, 6.35φ
変形様式 (標準系)	(1)等二軸変形 (2)不等二軸変形(パターン1) (3)不等二軸変形(パターン2) (4)平面ひずみ変形 (5)一軸変形

試験結果例



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2012 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。